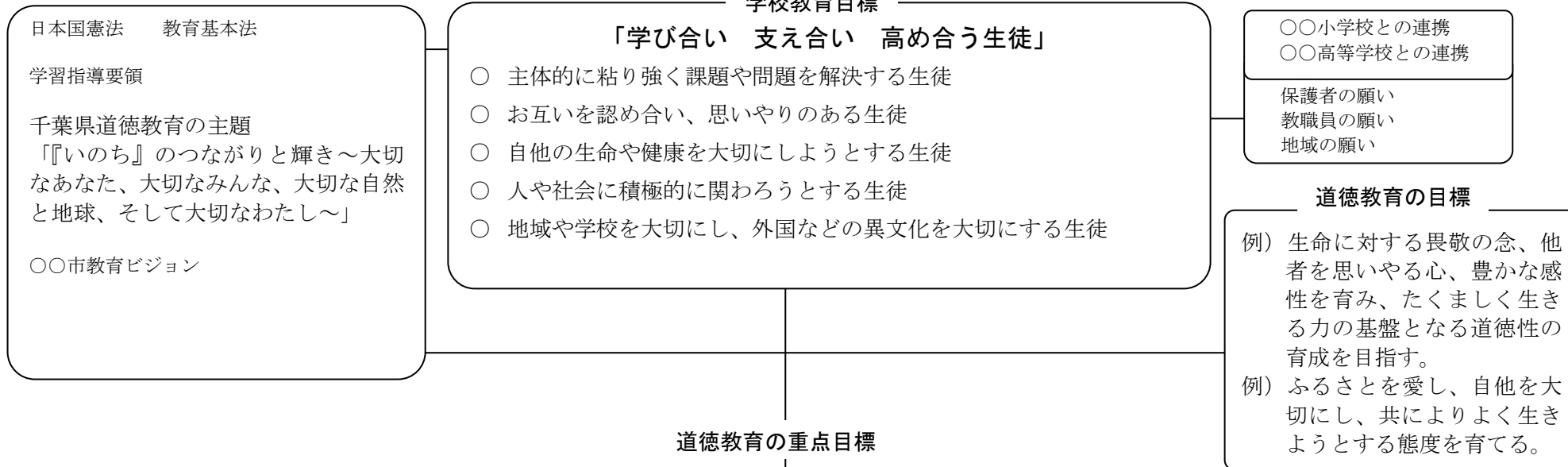


中学校の取組

令和〇〇年度道徳教育全体計画（例）

〇〇立〇〇中学校



道徳教育の重点目標

- ・「千葉県道徳教育の指導の指針」に基づき、道徳教育の充実を図る。
 - ・心に響く道徳授業の展開や多様な体験活動を通し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- 内容 A 自己を見つめより高い目標を設定し、希望と勇気をもってその達成を目指し努力しようとする生徒の育成
- 内容 B 思いやりと感謝の気持ちを持ち人間愛の精神を深め、互いに励まし合い高め合おうとする生徒の育成
- 内容 C 伝統と文化を尊重するとともに遵法精神と勤労を尊び、よりよい社会の実現に努めようとする生徒の育成
- 内容 D 生命の連続性や有限性を理解し尊重し、人間として生きることの喜びを見出す生徒の育成

学年別目標

1年	2年	3年
礼儀・あいさつの意義を理解し、明るい生活を築こうとする態度を育て、相手の支えとなる真の友情を育てようとする心情を養う。	自他の生命を尊重し、他に流されず全力を尽くそうとする強い意志や集団の中で自分を生かし、集団の資質を向上させようとする態度を育てる。	他に対して思いやりの心を表現しようとする態度を育て、道徳的諸価値に基づいた人間としての生きる喜びを深めようとする心情を養う。

各教科における道徳教育

各教科の指導目標の達成を目指す中で、道徳教育との関連を踏まえ、道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を養い、道徳性に関わる実践的態度を養う。

国語	伝え合う力を高め、言語感覚を豊かにすることで、相手の立場や考えを尊重し感性や情操を豊かにし、望ましい人間関係をつくる力を養う。
社会	社会に対する関心を高め、民主的・平和的な国家社会の一員として責任のある行動が取れるための公的資質を養うことで、人間としての生き方への自覚を深める。
数学	事象を数理的に考察する能力を高め、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てることで筋道立てて考える能力を培い、道徳的判断力を養う。
理科	自然に対する関心を高めるとともに自然への理解を深め、自然を大切にすることを育み、科学的に調べる能力や態度、科学的な見方や考え方を養うことで道徳的判断力を養う。
音楽	音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を豊かにし、美しいものや崇高なものを尊重する心を育み、豊かな情操を養う。
美術	創造活動の喜びを愛好する心を育てることで、心豊かな生活を創造していく意欲や態度、豊かな情操を養う。
技術・家庭	進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることで自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとする自覚を深める。また、家庭や家族について理解し、家族関係をよりよくしようとする態度を養う。また、情報モラルに対する意識を高め社会を形成する一員であることを自覚させる。
保健体育	健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ることで明るく豊かな生活を営む態度を育てる。競争や協同の経験を通して人間関係の在り方を学び集団の一員としての役割や責任を果たすことの重要性を考え身に付ける。
外国語	言語や文化に対する理解を深めることで世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野と国際社会で生きる能力を養い実践的コミュニケーション能力を育成することで豊かな人間関係を築く力を培う。

道徳科の指導方針

- 道徳教育の要として、全教育活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的に指導する。
- 生徒が道徳的諸価値の理解に基づき、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考え、深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲、態度を育成する。
- 言語活動を充実させ、「考え、議論する道徳」への授業改善を図る。
- 「私たちの道徳」を活用する。
- 「千葉県道徳教育推進のための基本的な方針」で示された内容を踏まえた学習を行う。
- 県独自の映像教材の活用を積極的に図る。

特別活動における道徳教育

- 学級活動
- ・望ましい集団生活や人間関係を築く自主的活動の在り方を自覚させる。
 - ・将来の生き方と進路に関する学習（キャリア教育）を行い、なりたい自分を意識する。
- 生徒会活動
- ・異年齢集団による自発的、自治的な活動を一層活発に展開することで道徳実践力を高め、道徳的成長の場とする。
- 学校行事
- ・ボランティア活動などの社会参加や自然体験、幼児・高齢・障がいのある人々とふれあう活動等に積極的に参加することで思いやりの心や奉仕精神などの道徳的心情や実践力を育てる。

総合的な学習における道徳教育

自ら課題を見付け解決していく過程で自己の生き方を探求する態度を育て、職場体験などの体験活動で自己を見つめ、相手を尊重する心を育てる。また、情報モラルを理解させ社会参画の心構えを養う。

生徒指導における道徳教育

生徒の個性や実態を把握し、共通理解を図り人間としての生き方の基盤づくりをする。

家庭・地域との連携

- ・授業参観や懇談会、学校開放日を通じ、教育方針を理解してもらいともに意見をくみ上げ、よりよい教育活動を展開する。
- ・各種便り、ホームページにより道徳教育の情報提供を計画的に行う。
- ・青少年健全育成機関等との連携を図る。

小学校、高等学校とのつながり

- ・小学校での基礎的な道徳性の育成の上に、中学校での道徳教育の実践を積み重ね、人間の生き方、在り方を考えさせる高等学校での道徳教育へつなげる。

学年・学級の環境

- ・生徒一人ひとりが自ら学ぶことに意欲がもてるような教育環境をつくることともに、言語環境の充実を図り、豊かな情操を養う。

全体計画・別葉(例) 【道徳教育と各教科・領域等との関連 中学校(第2学年)】(干):「千葉県道徳教育映像教材」(自):自作資料

※縦軸を道徳教育の内容項目、横軸を教科・領域等で整理し、各内容に時期を加える方法でまとめた例

	道徳の時間		国語・英語	社会	数学・理科	音楽・美術	保健体育	技術・家庭	特別活動・行事等
	内容	教材名							
A 自分自身に 関すること	自主 自律 自由と責任	4月 はやぶさプロジェクト		12月 歴:自由民権運動の高まり			バレーボール	7月 家:わたしたちの衣生活	4月 特活:対面式
	節度 節制	すべての内容項目が指導できるように「教科書」「私たちの道徳」「千葉県道徳教育映像教材」を計画的に配置する。 ※内容項目のタイトルだけでなく、指導要領解説の内容項目の指導の要点も考慮し教材を選定する。					体育:身体ほぐし 運動:	4月 家:わたしたちの衣生活	4.9.1月 あいさつ運動
	向上心 個性の伸長		1月 近代文化の形					5月 家:わたしたちの衣生活	
	希望と勇気 克己と強い志								
	真理の探究 創造		4月 歴:「近代革命時代」						
B 他 関する 人 の こ と	思いやり 感謝							3月 家:わたしたちの成長と家族	4月 いじめ防止キャンペーン
	礼儀	9月 「いき」な江戸しぐさ	9月 英:Homestay in the United States						
	友情 信頼	7月 いつのまに…(干)						9月 技:材料の切断、組み立てよう	9月 特活:体育祭 10月 文化祭
	相互理解	6月 恋する涙						9月 技:材料の切断、組み立てよう	
C 集団や 社会と のか かわ りに 関 す る こ と	遵法精神 公德心	12月 自分、相手、周りの人	11月 英:A park or a parking Area	5月 歴:近代的な国際関係	4月 理:電流、12月 化学変化と物質の質量		体育:身体ほぐし 集団行動 保健:健康と環境	11月 家:消費生活と環境	
	公正 公平 社会正義	1月 ○○市人権公民ノートコラム(自)	1月 国:走れメロス						6.12月 特活:人権集会
	社会参画 公共の精神	10月 約束って何?	12月 国:補助犬とともに 3月 英:Can Anyone						11月 生徒会選挙
	勤労	11月 ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと		5月 歴:産業革命とその影響					6月 地域清掃ボランティア活動
	家族愛 家族生活の充実	2月 忘れられぬ一言	9月 国:盆土産、字のないはがき					2月 家:わたしたちの成長と家族	5月 総合:職場体験を通して
	よりよい学校生活 集団生活の充実	7月 できること、できないこと、そして接し方				10月 音:学級合唱曲	ダンス ソーラン節 よさこいソーラン		9月 特活:体育祭 10月 文化祭
	郷土の伝統と文化の尊重 郷土を愛する態度	6月 祭りの夜		12月 歴:近代化産業遺産から			保健:健康と環境		2月 語る会
	我が国の伝統と文化の尊重 国を愛する態度	3月 包む				11月 音:日本歌曲 美:紋を切る	ダンス ソーラン節 よさこいソーラン	10月 家:よりよい食生活	5月 修学旅行
D 自然や 崇高な もの と の 関 係 に 関 す る こ と	国際理解 国際貢献	1月 心の国境を越えたい	5月 英:Emi goes Abroad	6月 地:世界から見た日本の姿	2月 理:日本の気象				10月 特活:文化祭 特活:エコキャンプ運動
	生命の尊さ	12月 最後のパートナー	9月 国:無言館の青春		9月 理:動物の体のつくりと働き			1月 家:わたしたちの成長と家族	
	自然愛護	6月 樹齢7千年の杉	5月 英:Emi goes Abroad	10月 地:環境保全の視点から近畿地方を調べる	10月 理:生物の変遷と進化			12月 家:消費生活と環境	7月 林間学校
	感動 畏敬の念	11月 夜のくだもの屋		2~3月 歴:高度経済成長のなかの日本					
	よりよく生きる喜び	9月 足袋の季節		1月 歴:よりよい未来に向けて		5月 音:交響曲第5番「運命」			

○全体計画別葉には、各教科等と道徳教育との関連を記載する。無理にすべての単元名、教材名を当てはめるのではなく、各学校や生徒の実態に応じて重点化を図り、具体的な見通しの持てる計画を作成する。作成後は、実施の有無や追加・修正などを記載できるよう職員室に掲示するなどして活用を図る。
○この形式はあくまで一例。各学校で作成されている別葉を見直し修正が必要な場合は修正する。
* 別葉のない学校は作成する。

登場人物への自我関与が中心の授業例

中学校 指導案

(1) 主題名

「支え合う喜び」（周りの人との信頼関係を築く）

家族への感謝と思いやり C 家族愛

(2) 教材名 「お母さんのお母さん」（出典「千葉県道徳教育映像資料」千葉県教育委員会）

(3) 「考え、議論する道徳の授業」としての工夫

効果的に資料映像を視聴するために課題について共通理解を行った後、適宜ワークシートを用い、自分の考えを表現する。この過程を通じてさらに自己を見つめ、日頃の生活を見つめ直すことができるようにする。またペアトークや班での話し合いを通じて意見を交換し、自分とは異なる意見と接することによって自己の考えを客観化し、それぞれの道徳的思考力を高める。

指導に当たっては、父母・祖父母を敬愛するとともに、家族一人一人の存在のありがたさを確認し、家族全員の幸福を追求するために何をすべきか考え直す機会を与える。

授業では、主人公大輝の心情に共感しながら、家族を疎んじがちな自分たちの姿を客観的に理解するとともに、祖母の言動に注目させ、子を思いやる母の気持ちに気付かせたい。

(4) 主題設定の理由

本時の主題は、「『支え合う喜び』—家族や周りの支えに感謝し豊かな人間関係を築く」を受けて設定した。我々にとって家庭とは、日々の活動への英気を養う安らぎの場であると同時に、望ましい生活習慣を身に付け、他者への思いやりの心を育むなど、社会生活を営むための基盤づくりを行う教育の場でもある。しかし現在の日本は少子高齢化や核家族化が進行し、大勢で協力し合いながら1つのことをなすとげたり、苦労を分かち合いながら望ましい人間関係の在り方について学んだりする機会が乏しくなっている。

また中学校の段階は、自分の意思や判断で人生を切り開きたいという欲求が強まる頃である。この欲求は発達段階として正当なものだが、自らを教え導く父母や祖父母の言動を煩わしく感じたり、家族らの思いを無視して衝動的に自分勝手な行動を取ってしまうことも少なくない。

互いを慈むことで家族は成り立っていることに気づかせ、家族のために自分には何ができるのかを考え、よりよい人間関係を築こうとする態度を育成するため本主題を設定した。

(5) ねらい

中学1年生の主人公大輝は、母の交通事故をきっかけに、家族の絆や母の子に対する思いの深さに気づいていく。その主人公の姿に共感する過程を通じて、父母や祖父母の願いや愛情の深さを理解し、家族に対する感謝や敬愛の念を深め、家族を大切にしようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(6) 評価の場面と方法

①展開場面でグループの仲間と、意見を伝えたり、聴いたりしている様子から評価する。

②振り返りの場面で、ワークシートや発言から評価する。

※記述することに抵抗のある生徒への対応として、ワークシートは記述する場面だけでなく、本時を振り返り、自分に合うものを選んで○をつける部分を用意した。

《学習状況について》

・話し合いを通して多様な考えに触れ、主人公の家族に対する思いについて、自分の考えを明らかにしたか。

《成長の様子について》

・家族の在り方について多面的・多角的に捉え、家族の一員としての自覚が持てたか。

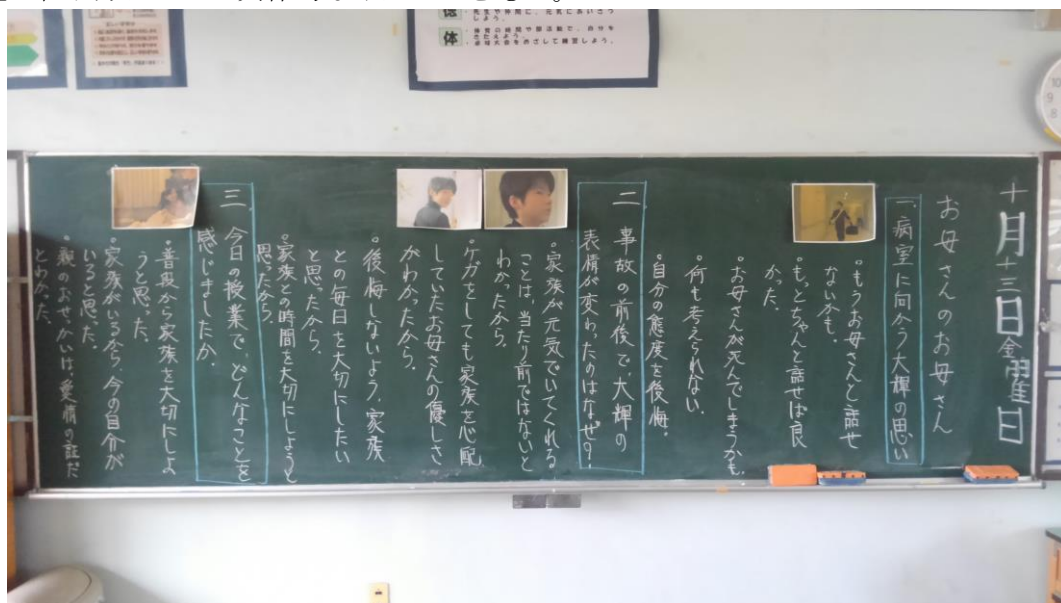
(7) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点・評価(★)
導入 (5分)	1 これまでの自分の体験について話し合う。 ○ あなたにとって家族とは、どんなものだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日にプレゼントをもらってうれしかった。 ・部活の大会の時に応援に来てくれた。 ・何かというと「勉強をしろ」と言うので、少しくざったい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との関わりでうれしかった体験を出し合い、授業に向けての意識付けを行う。 ・家族形態が多様化していることに配慮して指名計画を立てる。
展開 前段 (35分)	<p>2 DVDの前半(大輝が病室に駆けつけるまで)を視聴する。</p> <p>3 DVDの前半について話し合いを行う。 ○ 病室に向かう途中、大輝が考えたことはどんなことだろうか。</p> <p>4 DVDの後半(病室での会話から結末まで)を視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も前ほど親と話をしなくなった気がする。 ・大輝のお母さんはこの後、どうなってしまうのだろう。 ・もうお母さんと話ができないかもしれない。 ・お母さん、どうか死なないで。 ・僕はどうして今朝、お母さんの話にろくに返事もしなかったんだろう。 ・お母さんにもしものことがあったら、今朝のことを謝ることもできなくなってしまう。 ・お母さんのけががたいしたことがなくて、本当によかった。 ・おばあさんが九州からこんなに早く駆けつけるなんてすごい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の拡大写真と名前カードを掲示し、大輝の気持ちの移り変わりに注目するよう指示する。 ・母の身の上を心配する主人公の思いに共感させながら視聴させる。 ・回想シーンでの親子の会話のシーンに注目するよう助言する。大輝の無愛想な態度が特別なものではなく、生徒たちの日常生活においてもありうることに気付かせる。 ・母が大輝を思う気持ちや、大輝が母を心配する気持ちに共感させたい。 ・病室に着いた瞬間の大輝・父 ・陽菜の様子から、それぞれが母の命を真剣に心配していたことに注目させる。 ・飛行機の搭乗経験について質問し、わずか半日で九州から駆けつけた祖母の思いに注目させる。
展開 後段 (10分)	<p>5 DVDの後半について話し合いを行う。</p> <p><中心発問> ◎ 事故の前と後で、家</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが死ななくて本当に良かったと思ったから。 ・おばあちゃんがお母さんを守り、お父さんとお母さんが大輝たちを一生懸命守ってきたから、今の家族がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おばあちゃんは、あなたたちのお母さんのお母さんなのよ」「いくつになっても大切な子供よ」という祖母の言葉に注目させ、そこから何を感じたか話し合わせる。

	を出るときの大輝の表情が変わったのはなぜだろうか。	<p>ことに気づいたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族がみな元気であることは、決して当たり前ではないとわかったから。 ・ケガをしても家族のことを心配していたお母さんの優しさが分かったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後のシーンで大輝が母に見せた微笑を振り返り、事故前と比べて、何が大輝を変容させたのかを考えさせる。 ★話し合いを通して多様な考えに触れ、主人公の家族に対する思いについて、自分の考えを明らかにしたか。(話し合い・発表)
終末 (10分)	6 本時の活動を振り返り、授業の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から家族と過ごす時間を当たり前と思わず、大切にしなければいけない。 ・家族を支えているのは、家族一人一人がお互いを思いやる気持ちだ。 ・家族がいるから、今の自分がいる。 ・自分の命や家族の命を、大切にしていかなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○机間指導をして感想の代表例を他の生徒に紹介し、価値の一般化を図る。 ★家族の在り方について多面的・多角的に捉え、家族の一員としての自覚が持てたか。(発表・ワークシート)

(8) 他の教育活動との関連

- ・特別活動の「思いやりの気持ちを育てよう」では、クラスの仲間と、建設的なコミュニケーションをとる方法について学ぶ。
- ・あらゆる教科の話し合い活動を通じて、友だちの話を傾聴し、それを踏まえた上で自分の考えを主張する習慣を身に付ける。
- ・技術・家庭の学習を通じて、望ましい家庭の在り方について自己の考えを深め、理想とする家庭の在り方について具体的なイメージをもつ。



(9) ワークシート

おかあさんのおかあさん ワークシート

() () 年 () () 組 氏名 ()

病室に向かう途中、大輝が考えた事はどんなことだろうか。

「いつも、お母さんにつめたいいじきをとってしまって、そのあとに事故ってしまったから、あのふんいきで終わるとしたらイヤだと思った。もう少しちゃんと話ししてあげようか。お母さん、だいじょうぶかな」とすこく心配だった。

事故の前と後で、家を出るときの大輝の表情が変わったのはなぜだろう。

事故が起きてから、いつなにかおきるかわからないということが改めて分かったと思うので、お母さんと話せる時を大切にしようと思った。(いもうな人と) なにかおこした時に、こうしてあげようか、とこうかいしないようにしようと思った。

今日の授業で感じたことを、自由に書いてみよう。

DVDを見て、なにかおこるかわからないということが改めて分かったので、家族や友達を大切にしようと思った。こうかいしない毎日をおくろうと思った。お母さんかしてくれることをあたり前と思わずかんしゃして、できることは手伝おうと思った。

今日の授業をふりかえろう。

- ①自分なりの考えを持てた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()
- ②友達に真剣に聴いてくれた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()
- ③自分の考えを友達に説明できた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()

おかあさんのおかあさん ワークシート

() () 年 () () 組 氏名 ()

病室に向かう途中、大輝が考えた事はどんなことだろうか。

お母さん大丈夫かな。なんで今日、ちゃんとお母さんと話をしなかったんだろう。あれが最後なんて絶対ヤダ。

事故の前と後で、家を出るときの大輝の表情が変わったのはなぜだろう。

いつ何が起きてても後悔しないような行動をとる。当たり前の事が当たり前じゃなくなってしまう事に気づいたから今を大切にしようと思った。

今日の授業で感じたことを、自由に書いてみよう。

私も親に冷たい態度をとってしまったことがある。からいつ何が起きてても後悔しないような態度で今を大切に生きていこうと思いました。

今日の授業をふりかえろう。

- ①自分なりの考えを持てた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()
- ②友達に真剣に聴いてくれた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()
- ③自分の考えを友達に説明できた。 (とても) だいたい ．．． あまり ．．． ぜんぜん ()

体験的な学習を取り入れた授業例

中学校 指導案

(1) 主題名

「支え合う喜び」(広い範囲の友達とのつながりを喜ぶ)

友達の気持ちを考えて B思いやり・感謝

(2) 教材名 「手のひらの小さな世界」(出典「千葉県道徳教育映像教材」千葉県教育委員会)

(3) 「体験的な学習を取り入れた道徳」の授業としての工夫

道徳的行為に関する体験的な学習として、役割演技により、自分で直接感じ取り、実感を持って理解するという効果が期待される。登場人物になりきることで、また、演じっぱなしにならない工夫が必要である。

(4) 主題設定の理由

本教材は千葉県道徳教育の指針『「支え合う喜び」－ 思いやりの心を持ち行動する』をテーマとし、現代的な課題である情報モラル意識の高揚に留意して作成されたものである。

一般的に中学生の時期は、互いに心を許しあえる友人を真剣に求めるようになる。しかし、近年の情報通信機器の発達と普及は若者同士のコミュニケーションの在り方に大きな変化をもたらした。新たな教育上の課題を生み出した。本来、携帯電話やスマートフォンは、手紙や電報と同様の「人と人の心がつながるためのツール」である。そのように考えると、本質的な情報モラル教育とは情報通信機器の向こう側に生身の人間がいることを忘れない想像力を鍛えることであり、学習指導要領の内容項目にあるように「思いやりの心をもって人と接する」態度を養うことである。

主題に迫るための工夫として、生徒自身が問題を発見し、少人数グループでの役割演技により多様な考え方に触れることができるようにする。そして、学習の振り返りを習慣づけ(評価)、自分の成長を実感できるようにする。

(5) ねらい

主人公結衣の行動から、人と人の心がつながっていくためには、相手の立場や気持ちに対する配慮が大切であることを理解するとともに、役割演技を通して、情報通信機器の向こう側に生身の人間がいることを想像しながら使用し、周囲とのよりよい関係を築いていこうとする意欲を育てる。

(6) 評価の場面と方法

①展開場面で、役割演技をしたり、他班の演技を見たりしている様子から評価する。

②学習のまとめの場面で、ワークシートや発言から評価する。

*記述することに抵抗のある生徒への対応として、ワークシートは記述する部分だけでなく本時を振り返り、自分に合うものを選んで丸を付ける部分を用意した。

《学習状況について》

・役割演技を通して、友達の気持ちを考えて行動することのよさや大切さに気付いたか。

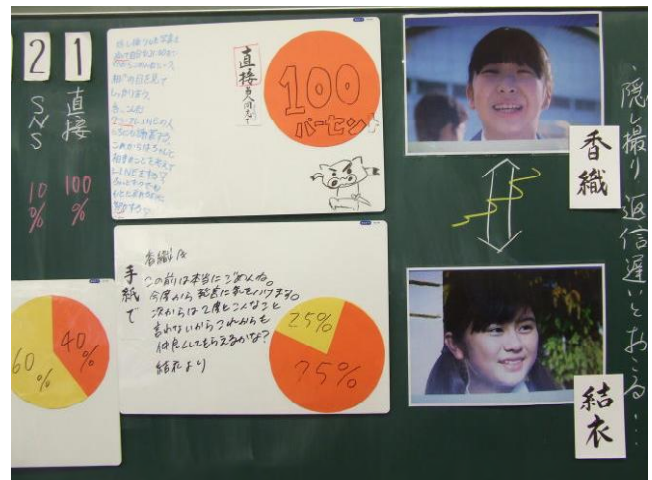
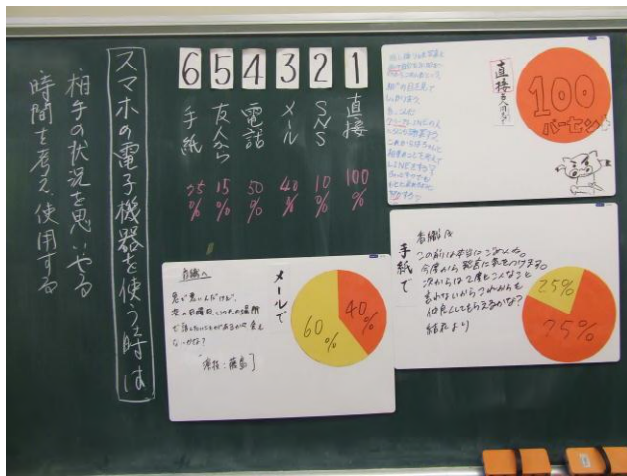
《成長の様子について》

・グループや全体での話し合いを通して、多面的・多角的な見方へ発展しているか。

(7) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点・評価(★)
導入 (5分)	1 大切な思いを友達に伝えるには、どんな方法で伝えますか ①合って直接言う。 ②電話 ③メールや SNS ④手紙 ⑤その他	・大事な事は直接伝えた い。 ・返答しづらい内容の場合 は直接会って話をしたくない。 ・メールや SNS の方が 楽である。 ・手紙だと暖かみがある。	・コミュニケーションのツールは 複数あり、相手を思いやっ て適切に選択する必要がある ことに気付かせる。
展開 (40分)	2 DVD を視聴する前に 主な登場人物を紹介し、 観点を確認する。 3 DVD を視聴する。 (11分30秒) 4 <補助発問> 結衣はどうして仲の良い 香織と気まずくなくなって しまったのだろう。 <中心発問> 5 ◎この後、結衣は香織に どんな方法で、どんな言葉 をかけるのだろう。役割演 技で表現してみよう。	A.アプリでメッセージのやり とりを繰り返す場面 B.隠し撮りした画像を無断 でアップロードした場面 C.結衣が教室で怒った場面 D.『香織ムカつく』とメッ ッセージを投稿する場面 E.駅前で盗み聞きする場面 ○どんな方法で ・直接会って言う ・電話で言う ・電子メールで送る ・手紙で送る ・友に言ってもらおう (班ごとに方法をその場 で即興で演じる) ○どんな言葉を ・香織の気持ちを考えて いなかった。私が自分 勝手だった。	・登場人物の静止画を掲 示し、人物設定について 簡単に説明する。 ・結衣の言動に視点を 当てて視聴させる。 ・結衣の言動に視点を 当てて視聴させる。 ・静止画の下にネーム プレートを貼り意見を 発表させる。 ・結衣の身勝手な言 動に対する後悔の気持 ちを通して、情報モラ ルにも配慮し指導を行 う。 ・発表にとどまらず、 本時のねらいに迫る 話し合いとなるよう、 補助発問を工夫する。 ・役割演技の設定を生 徒にはっきりと示す。 (即興性を重視するた め) ・議論隊形は4人から 6人組で学級活動とも 関連づける。 ・自分の考えをまと めるため、ワークシ ートにセリフを書き、 最善の演技を短時間 で考える。 ・結衣役香織役の生 徒に役になりきって 話すよう留意させる。 ・役になりきるため にお面やスマートフォン を用意する。 ★与えられた方法で 香織との関係修

		・ごめんなさい。	復のための最善の打開策を考え、 役割演技をすることができたか。 (ワークシート・役割演技)
終末 (5分)	6 本時の活動を振り返る。	○携帯電話やスマホを使用する時に相手への思いやりの気持ちを持ってはいけない。	・情報通信機器の使用の在り方について考えたことについて、板書を参考に確認する。 ★相手に対する思いやりを大切にしながら情報通信機器を適切に使用しようとする意欲が高まったか。 (ワークシート)



(8) 他の教育活動との関連

特別活動の「思いやりの気持ちを育てよう」では、クラスの仲間と、建設的なコミュニケーションをとる方法について学ぶ。またあらゆる教科の話し合い活動を通じて、友達の話話を傾聴し、それを踏まえた上で、自分の考えを主張する習慣を身につける。

更に、国語の伝え合う力を高め、言語感覚を豊かにすることで、相手の立場や考えを尊重し感性や情操を豊かにし、望ましい人間関係を作る力を養う、という点で関連深い。

(9) ワークシート

① 大切な思いを友達に伝えるには、どんな方法で伝えますか。

友達・SNS・電話・メール

② 結衣はどうして仲の良い友達と気まずくなったのでしょうか。

結衣は友達として仲の良い友達と気まずくなったのでした。

③ この後、結衣は友達にどんな方法でどんな言葉をかけるのでしょうか。

特別優待で表現してみよう。各様ごとに異なる方法で、心を伝える言葉を考え、発表しましょう。

④ 方法

⑤ 感想

「この時、結衣は友達にどんな方法でどんな言葉をかけるのでしょうか。」
「特別優待で表現してみよう。各様ごとに異なる方法で、心を伝える言葉を考え、発表しましょう。」

方法	優待
一画 直接	直接らしい、直接、伝わらない、他
二画 SNS	直接らしい、直接、伝わらない、他
三画 メール	直接らしい、直接、伝わらない、他
四画 電話	直接らしい、直接、伝わらない、他
五画 友人から	直接らしい、直接、伝わらない、他
六画 手紙	直接らしい、直接、伝わらない、他

⑥ 振り返り

人と人との心をつなげるためには、電子機器をどう使うべきか
について

友達と共に最適な方法を考えることができました。

⑦ 主体的に考える
・ 大体理解し考えた、あまり考えられなかった

① 大切な思いを友達に伝えるには、どんな方法で伝えますか。

友達・SNS・電話・メール

② 結衣はどうして仲の良い友達と気まずくなったのでしょうか。

結衣は友達として仲の良い友達と気まずくなったのでした。

③ この後、結衣は友達にどんな方法でどんな言葉をかけるのでしょうか。

特別優待で表現してみよう。各様ごとに異なる方法で、心を伝える言葉を考え、発表しましょう。

④ 方法

⑤ 感想

「この時、結衣は友達にどんな方法でどんな言葉をかけるのでしょうか。」
「特別優待で表現してみよう。各様ごとに異なる方法で、心を伝える言葉を考え、発表しましょう。」

方法	優待
一画 直接	直接らしい、直接、伝わらない、他
二画 SNS	直接らしい、直接、伝わらない、他
三画 X・V	直接らしい、直接、伝わらない、他
四画 友人から	直接らしい、直接、伝わらない、他
五画 手紙	直接らしい、直接、伝わらない、他
六画 手紙	直接らしい、直接、伝わらない、他

⑥ 振り返り

人と人との心をつなげるためには、電子機器をどう使うべきか
について

友達と共に最適な方法を考えることができました。

⑦ 主体的に考える
・ 大体理解し考えた、あまり考えられなかった

問題解決的な学習を取り入れた授業例

中学校 指導案

(1) 主題名

「支え合う喜び」(個々の違いを受けとめ、友達とのつながりを喜ぶ)
互いに認め合い、広い心を **B 相互理解, 寛容**

(2) 教材名

「みんなで描く心の色」 (出典「千葉県道徳教育映像教材」千葉県教育委員会)

(3) 「考え、議論する道徳」の授業としての工夫

問題解決的な学習を通して、道徳的課題に気付かせ、「自分はどうか考えるか、自分の周囲の人々はどう考えているのか」という議論から生徒自身の道徳的心情や判断力を高めさせる。ワークシートに「考えの変容」が見えるようにすることも工夫の一つである。また、多様な考えや意見を聴き合うために、4～6人程度のグループで議論することが効果的である。その際、生徒の実態や人間関係を踏まえながらグループを編成し、実践する。

(4) 主題設定の理由

本主題は、千葉県道徳教育の指針にある、「『支え合う喜び』-思いやりある態度をもち、行動する、周りの人との信頼関係を築く」に関連している。人間の考え方や言動、更には育っている環境などは皆同じではない。それぞれの考えなどに対し、自分という一つの視点からしか物事を見ることができない場合、時にそれは人を傷つけてしまったり、信頼関係を築く上での壁になったりしてしまう。相手の立場という視点を持ち、他者に学ぶことが大切である。同時に、中学生年代においては、「自分の意見や考えを発信する」ことが相互に理解し、信頼を築く上での鍵となる。

小学校年代から中学校年代への生徒の環境的な変化として、仲間を中心とした、より多くの人々との出会いがある。自分の考えや言動がその新たな出会いの中で、どのように感じられるのかを客観的にみることができる。互いの考えや意見を聴き合う習慣をつけた上で、自分の考えを伝える場を設定し、経験を積み重ねることが、ひいては同調圧力に屈しない集団をつくることにもつながる。自分の意志に背いてまでも他に合わせることは、自分を高めることにはつながらない事にも気づかせたい。相手の存在を認めることは、自分の個性も認められることにつながるのである。

本教材は、中学校現場での出来事という生徒にとって考えやすいものである。この教材について問題解決的な学習を用いることで、問題を発見させ、正解のない答えに向かって議論しながら解決策を考える。主体的に考え、議論を通して対話的に主題に迫るため、本主題を設定した。

(5) ねらい

主人公理子やその周囲の人々の言動から、広い心で相互に理解し合うことの大切さについての考えを深め、よりよい人間関係を構築していこうとする意欲を高める。

(6) 評価の場面と方法

①展開場面でのグループで議論する場面で、聴いたり、伝えたりしている様子から評価する。

②振り返りの場面で、ワークシートや発言から評価する。

※議論場面を可視化させるため、ワークシートに他者の意見をメモする部分を設けた。

《学習状況について》

・問題解決を図る議論や吟味を通して、相手を認めることの大切さについて考えが深められたか。

《成長の様子について》

・グループや全体での話し合いを通して、多面的・多角的な見方へ発展しているか。

(7) 展開

過程	学習活動と発問	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点・評価(★)
<p>導入 (5分)</p>	<p>1 中学校入学前やクラス替え前を振り返り不安だったことや心配していたことについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・違う小学校の人たちが一緒になるので仲良くなれるかが心配だった。 ・友だちが増えるのが楽しみだった。 ・仲良しの友達と別のクラスになってしまうかどうか不安だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理子の当時の心境を主体的に考えさせるために、当時を振り返る時間を作る。 ・楽しみもあっただろうが、中学校入学時に不安になることのランキングを見せ、客観的にも自分の不安と重なる部分があることを感じさせる。
<p>展開</p>	<p>2 DVDで、前半部分を視聴する (翔太が立ち上がる場面まで約11'00) ○登場人物の確認をする。</p> <p>3 《問題発見》 問題点について考える。</p> <p>4 《補助発問》 入学した時より理子の性格が暗くなったのはなぜだろうか。</p> <p>5 《補助発問》 理子の「千葉デザイン展」の受賞を聞いて、級友はどのような気持ちだろうか。</p>	<div data-bbox="612 779 943 1034" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている？ ・からかわれている。 ・小学校よりも暗くなってしまった。 ・翔太と仲がいいと噂されたから。 ・翔太に冷たくされているから。 ・沙織と裕香の態度も冷たい。 ・自然体でいられない。 <div data-bbox="304 1451 592 1615" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと複雑・・・。 ・すごいなあ。 ・暗い性格だと決め込んでいたけれど、才能があったんだ。 ・自分にはできないことできるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面がわかるように登場人物の写真を黒板に貼る。 ・生徒の発言は共感的に受容し、映像では正確に理解できなかった生徒のために板書は類型化して行う。 ・理子の不安そうな表情に焦点を当てる。 ・理子への共感の他に、多角的な視点に立ち、沙織と裕香は本当はどうしたかったのかを想像させたい。 ・議論は学級活動とも関連づけ、4人～6人とする。また、聴き方の確認をすることで意思を伝えやすい雰囲気をつくる。 (学級活動との関連) ・ねらいに迫るに当たって、主人公ばかりでなく、周囲の級友の心の動きにも目を向けさせる。 <div data-bbox="952 1798 1337 1944" data-label="Image"> </div>

<p>展 開</p>	<p>6 《中心発問》 思わず立ち上がる理子に自分なら何と声をかけてあげられるだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理子，やってみなよ。これはチャンスかもしれないよ。 ・俺たちの学級のために引き受けてよ。 ・自分たちのことしか考えていない言い方は逆に傷つける。 ・無理しないで，かわいそうだよ。 ・今まであんまり話したことないから声をかけづらい。 ・親しい人からの声かけが一番いいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに記入し，理由づけもする。 ・もう一度手，理子の立場，沙織と裕香の理子への考え方や感じ方を整理する。一面的な見方から，多面的に物事を見る機会を提示する。 ・グループで考えを伝え合い，議論し，再考する。 ・多様な意見から，自分の考えについて吟味させる。 ・自分だったら本当に言えるのか，葛藤させる時間を設ける。 ・多様な考えが，全てねらいにせまっていることにも気づかせる。 <p>★理子のおかれている立場を理解した上で、理子にかける言葉を考えようとしていたか。 (観察・発表・ワークシート)</p>
<p>終 末 (5分)</p>	<p>7 道徳ノートに今日の授業の振り返りを書く。</p> <p>○自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの人意見にあわせるだけで，今まで相手のことを真剣に考えることがなかった。 ・相手のことを理解するためには自分の考えをもつことが大切だ。 ・自分は周りの人たちを認めているのだろうかと考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や自分の周囲で起きている事象について考えさせるため，静かに内省する時間をつくる。 ・自分の中に葛藤があったり，意思を明確にできたりしたことに対して振りかえさせる。 <p>★自分の周囲にいる人たちを、広い心で認めることの大切さについて考えが深められたか。 (ワークシート)</p>

(8) 他の教育活動との関連

特別活動における，集団の課題について話し合う場面での相手の意見に耳を傾け，自分の考えを発信できるようにする。また，保健体育科をはじめとする，チームワークを重視した学習等も相互に理解し合いながら学びを深めるという点において関連深い。

